

フレンテみえ

フレンテとはスペイン語で
「前向き」という意味です。

Frente

vol.50
2012.71999年創刊
情報誌Frente
おかげさまで50号！

今ここで、

あなたと生きていく。

Report

中園ミホさん講演会

フレンテまつり

三重そぶんシネマスクエア2012
「311:ここに生きる-In The Moment-」我謝京子監督
インタビューReport
三重県内
男女共同参画連携映画祭2012夏～秋の
フレンテみえ事業紹介「フレンテな企業」
株式会社 丸八土建男女共同参画強調月間ff
(フォルティツシモ)



「働くことは生きること」

中園ミホさん講演会

6/3(日) 三重県文化会館 中ホール

「働く」ということ

私は、現代は「男だから」「女だから」という時代ではないと感じています。今は本当に厳しい情勢で、どんどん女性が働くないと、男性がいくら正社員でも明日どうなるか分からぬ時代です。三重県は三世代同居も多いと伺って、いい意味の家庭的な慣習が残っている魅力的な地域なんだなと思いましたが、一方で「働く」ということでは、さまざまな選択肢を持つ必要があるのではないかと思います。

もちろん、外で働くことだけが「働く」ということだとは考えていません。以前に連続ドラマを書くために専業主婦の方をたくさん取材したのですが、専業主婦って自分でやろうと思えば果てしなく仕事があるんですね。大変なのに世間で認められないなども実感しました。

働く女性へのエール!

私は脚本を書くために取材します。ものすごく取材します。派遣の方たちに取材をしたことがあるのですが、みんな本音を話してくれない。それでも3か月かけてお酒を飲みながら話を聞くうちに、一人がセクハラの話を始めました。その話を皮切りにその場にいた全員が泣き始めたんです。一番辛い人って本音が言えないですね。今思い出しても感極まってしまいます。これはドラマとして私が書かなきゃいけないと思い、出来たのが『ハケンの品格』です。

派遣の人たちに元気を出してもらう作品を作りたいと考えたのですが、家に帰ってきてまで、嫌な現実をドラマで見たくないだろうという想いもあり、なんでもできるスーパー派遣を主人公にしました。作品を少し現実離れさせる代わりに、主人公に本音を言わせたかったんです。放送後、派遣の人たちに「今まで言えなかったことをドラマで言ってもらえて感激した」と言ってもらえた時は本当に嬉しかったです。

「フレンテみえ」登録団体の交流イベント

フレンテまつり



女の子も男の子も、ダイナミックに!

6/2(土) 3(日) 開催!

フレンテまつりは、フレンテみえの登録団体によるおまつりです。

開催9回目となる今回は「みえ県民文化祭 総合フェスティバル」と同日開催となったこともあり、例年よりも更にたくさんの人で賑わいました。

活動展示やワークショップ、舞台発表にフリーマーケットと盛りだくさん! 団体間の交流を深めるとともに、来場者には楽しんでいただきながら「男女共同参画」について考えてもらうきっかけになれば、という想いをお届けしました。(届きましたか?)

後日の実行委員会では、来年に反映できるよう今回の反省と意見交換を行いました。

来年もお見逃しなく!



もちろん男女共同参画にストレートなワークショップも。

*フレンテみえでは、男女共同参画に対する意識を持って活動されている団体の支援を目的とした登録制度を実施しています。詳しくはお問い合わせください。

2012年度のフレンテみえ「男女共同参画強調月間ff（フルティッシモ）」オープニング企画では「ハケンの品格」「ナサケの女」などを手掛けた人気脚本家、中園ミホさんをお迎えし、自分が主役の人生を生きるための“エール”となるお話をいただきました。中園さんの講演からその一部をご紹介します！

「玉の輿」志望からシングルマザーに

若いころは「玉の輿」をはじめに目指していました（笑）。でも、玉の輿には乗れず、OLを経て占い師の助手として働きました。そこでの経験は人間観察のよい機会となり、今もその経験は活きています。その後、脚本家の人にひどい失恋をしたのですが、「もう一度会うためには脚本家になるしかない」という理由から脚本家を目指したんです。今考えると何とも不純な動機ですが、当時は真剣だったんですね。

また、私はシングルマザーですが、仕事をする中で働く女性の先輩からアドバイスをいただいたり、とても親切にしていただきました。それから、地域にも子どもを育ててもらいました。子どもを預かってもらったり、ご飯をいただいたり…、本当に感謝しています。

そんなダメな人生ですが、その中で学んだのは「逆境は人を育てる」ということです。学生の時に玉の輿にのっていたら今頃不満だらけの主婦になっていたと思います。

私の人生経験なんて全然参考にならないかもしれません、現在ちょっと辛いなと思っている人がいたら、こんな人でもなんとかなっているんだと思ってがんばって欲しいと思います。



…中園さん、楽屋での1ショット。
この後、伊勢へ。神宮などを巡り、三重の旅を楽しめたそうです。

中園 ミホ（脚本家）

Miho NAKAZONO

1959年東京生まれ。日本大学芸術学部卒業後、広告代理店勤務、コピーライター、占い師の職業を経て、88年にテレビドラマ「ニュータウン仮分譲」で脚本家としてデビュー。その後も、「不機嫌な果実」「やまとなでこ」「スタアの恋」「下流の宴」など、テレビドラマを中心に入数多くの作品を執筆。07年に「ハケンの品格」が放送文化基金賞と橋田賞を受賞。徹底した取材を通じてのリアルな人物描写には定評があり、特に女性の本音に迫るセリフは多くの視聴者から共感を得ている。また、近年は「東京タワー」「ゴースト～もう一度抱きしめたい～」等の映画脚本も担当。日本大学芸術学部客員教授。



子どもたちが楽しめる催しも充実していました。



会場となった中ホールは
600人を超える参加者で賑わいました



イキオシ・イベント!

夏 だ!! そうぶん まるっと大冒険

えむさい
祭 2012
そうぶん “子どものおまつり”

8/5(日) 10:00 ~ 16:00

子どもたちのさまざまな興味と
好奇心にこたえるイベントもりだくさん！

複合施設である総合文化センターならではのイベントや、連携先の県立文化施設・学校・団体や「美し国おこし・三重プロジェクト」による、それぞれの施設の特色・魅力を最大限に生かしたものづくりイベントもあります。

フレンテみえでは…

「テクノガールの力ガク工房」

女性の研究者と一緒に不思議な工作をしよう！

協力：女性研究者連携協議会（パールネットみえ）・三重大学

開催時間は10時から16時まで！ まるっこー日そうぶんで“冒険”しよう！



「30日以内の短期派遣原則禁止」「離職者の1年以内派遣受入禁止」などを盛り込み、10月施行予定。名称も「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」と改められた。

「311：ここに生きる -In The Moment-」

我謝 京子 監督

スペシャル・インタビュー

9月17日(月・祝) アメリカ・ニューヨークから
我謝監督来館決定!

—ドキュメンタリー映画を撮られることになったきっかけはありますか？

20代のころに東京国際女性映画祭を観に行きました。そして、女性監督たちが生き生きと語る姿をみて私もいつか世界に通用するドキュメンタリー映画を撮る監督になりたいと思ったのです。

—母子だけでニューヨークに渡られた後、お仕事や生活面でご苦労もあったと思われますがどのように乗り越えられたのでしょうか。特にロイター通信社で唯一の日本人女性のテレビ記者という立場は意識されていましたか？

仕事で当初苦労したのは残業のあり方でした。日本では残業をしてもいいものを仕上げることが当たり前でしたが、こちらでは時間内にいかにいいものを作るかが求められていることに気がつきました。生活面では娘の無邪気さや笑顔に支えられて、被災後も泣きたくなることもありました。いつも娘や、まわりの友人たちに助けられました。本当につらいときは「助けて」と甘えていいのだということを学びました。仕事ではそれほど唯一の日本人女性テレビ記者ということは意識していませんが、取材する内容が日本でも世界でも通用する興味深い話の時は日本語と英語の原稿をそれぞれ工夫して書く事が楽しいです。

—まだまだジェンダー格差が大きい日本ですが、ニューヨークでお仕事をされる中で我謝監督が感じるジェンダー格差はありますか？

女性記者たちの助け合いがしっかりできているということは感じます。ニューヨークには1920年代にできたNewswomen's Club of New Yorkという団体があって、さまざまな新聞社や通信社、テレビ局、ブロガー、フリーランスなど、メンバーになって、お互いを励まし合いながら前進しています。今回の映画でも、このクラブのメンバーにとても励まされています。

我謝 京子

Kyoko Gasha



1963年 東京都生まれ。

ドキュメンタリー映画監督。

ロイターニュース記者。

映画監督としてドキュメンタリー映画『母の道 娘の選択』にてデビュー。海外で生きる道を選んだ日本女性の生き方を克明に収めた同作品は、マイアミ国際女性映画祭、東京国際女性映画祭など数多くの映画祭で上映された。11年、東日本大震災後に被災地を取材。ドキュメンタリー映画『311：ここに生きる-In The Moment-』を完成。東京国際女性映画祭を皮切りに、世界中で上映を続けている。

三重そぶんシネマスクエア 2012
今年のフレンチセレクションは
「311：ここに生きる -In The Moment-」
監督の我謝京子さんにお話をうかがいました！

三重そぶん
シネマスクエア
2012

9月15日(土)・16日(日)・17日(月・祝)

「いま」を大切に生きる
それが未来への希望

—我謝監督のこれから活動予定（作品の制作予定など）についてお聞かせください。

今後もコツコツと女性たちの復興を記録し続けていきます。2012年5月にも南三陸と福島に行ってきました。これからも一時帰国の度に少しずつ取材を積み重ね、5年後、10年後の姿を映画にしていきたいです。

—最後に三重のみなさんにメッセージをお願いします。

震災で大変な思いをした方々、そして自分の911後の心の復興を考えたとき、2つのことが見えてきました。

1つ目は「ひとりぼっちで悩まなくていい」ということです。つらいときは周りに助けを求めてみんなで前に進めばいいのだと思います。友達の存在は大きいです。

そして2つ目は、昨日の事はもう終わってしまったこと。どんなに戻りたくても戻れない。そして明日のことは誰にもわからない。だったら人として、わかるのは今このときだけ。だからこそ今を大切に生きることが大事なのだと思います。ですので、この映画のタイトルも「311：ここに生きる -In The Moment-」としました。その時をここに生きるということです。この思いは911そして311を体験した人がどちらも話してくださいました。もちろん過去への思いがあつたり、未来への不安もあるけれど、それはどうしようもない。でも今を大事に生きる事が、未来につながっていく。そう思うと希望も生まれます。

ひとりで悩まず、その日その日と一緒に大切に生きていきましょう。

9/17 『311：ここに生きる -In The Moment-』 上映後、
我謝監督のシネマトーク
&シネマカフェ、開催！



©「311:ここに生きる」製作委員会

「311：ここに生きる -In The Moment-」

東日本大震災後を生きる女性たちのドキュメンタリー。女性の視点でドキュメンタリー映画を企画製作している我謝京子さんを監督に、東北3県での取材をもとに震災後の女性たちの声を映像の記録として撮影。第24回東京国際女性映画祭にも出品、現在世界各地で上映中。9月17日そぶんシネマスクエア2012にて上映予定。

2011年／90分／女性向けCSチャンネルLaLaTV

制作著作：ファンテラ及びビューティーエンタテインメント株式会社、株式会社ピクターレコム、
株式会社テレビ東京、東北放送株式会社、株式会社BCN手取放送

日時：9月17日（月・祝）13時30分～上映（90分）

会場：三重県男女共同参画センター「フレンチミエ」多目的ホール
料金：前売り500円 当日700円 ※託児あり（事前申込制）

★シネマカフェセット券：1000円（限定80枚）

Report

～映画で見つけよう！男女がともに生きるヒント～

三重県内 男女共同参画 連携映画祭

2012



三重県の男女共同参画を推進するため県内のセンターと市町が手を取り合い、「映画祭」を開催！6年目となる2012年は、5つのセンターと19市町が連携し、県内各地 18ヶ所で 13作品を上映しました。盛況のうちに終了した映画祭での様子をご報告します！



伊勢市は副市長が上映作品にちなんで車掌さんの衣装で登場！

伊勢市の取組や共催団体「れいんぼう伊勢」との連携についてのお話がありました。

志摩市では「エンディングノート」上映後、アフタートークを開催。40人の参加者からは、男女それぞれの立場や自身の経験から、作品やこれからの生き方について感じたことなどたくさんの意見が出されました。



今年初めて連携に加わった鳥羽市では、上映前に昨年制定した鳥羽市男女共同参画条例の解説や、“男女共同参画の視点”での災害対策についてのお話もありました。



こちらは名張の託児会場。この映画祭は全会場に託児付き、しかも無料（！）というのが大きな特徴。

毎年託児を利用する方も多く、みなさん気軽に参加できる映画祭です♪



「自分らしい生き方」を考えるきっかけに…。連携映画祭は全国的にも注目される取組です。皆さま、来年もぜひご参加ください！

PickUp!



こちらはどうぞ。

いま、
あなたは何をする？

～防災から考える“新しいコミュニティ”づくり

【第1回】7月22日(日) 【第2回】7月29日(日) 【第3回】8月19日(日) 【第4回】9月8日(土)

まもなく
開催！

時間：全回13:30～16:30

連続講座
(4回)

→ 災害が起きた時、私たち自身の生活を、そして“まち”を守るのは、そこに住む私たち自身です。備えはいつも「今」から始めておかねばなりません。

今回の講座では、「防災」をキーワードに男女共同参画の視点で「新しいコミュニティづくり」を考えます。

講師には、現在復興庁男女共同参画班で非常勤職員を務められている相川康子さんや、現在美し国おこし・三重さきもり塾副塾長の浅野聰さんから国内、三重県の防災対策の状況等をお話いただきます。

大震災以降、大きく変わった社会や私たち自身のコミュニティの中で、自分たち自身は何かができるのか、講座を通して考えませんか。

講 師：相川康子さん((特活)NPO政策研究所専務理事)、浅野聰さん(三重大学准教授、美し国おこし・三重さきもり塾副塾長)
仁科あゆ美さん(一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 統括ディレクター)

★内容・会場などの詳細は、チラシ裏面(参加申込書)またはフレンテみえホームページをご覧ください

生物学上の性別ではなく「社会的・文化的に形成された男女の差異」のこと。男女間の格差を国別に示す指標として「ジェンダーギャップ指数(GGI)」などがある。(2011年発表のGGI:日本は135か国中98位)



フレンテな企業



株式会社 丸八土建

平成 22 年、4 人の女性社員により異分野事業立ち上げを目指した「あしたば事業部」を発足。地元大台町の緑茶入り美容パック（化粧品）「奥伊勢小町」の開発～発売を実現させ、「平成 23 年度 男女がいきいきと働いている企業 グッドプラクティス賞」を受賞した「株式会社 丸八土建」さん。

今回、その物語の中心であり全国からの注目を集めている「あしたば事業部」の皆さんにお話をうかがいました。

— 女性だけの「あしたば事業部」、発足のきっかけは？

平成 21 年、「男女がいきいき働いている企業」の奨励賞をいただいた時、社長から「女性の力で何か挑戦してみれば？」と提案されたことがきっかけです。でも、最初は社長もあまり期待していなかったみたいでしたよ（笑）

— 美容パック「奥伊勢小町」のアイディアはどのようにして生まれたのですか？

半年位は“したいこと”より“できること”を探すような試行錯誤と失敗を繰り返していましたが、最終的には「自分たちの身近にあって毎日使う化粧品は？」というアイディアと、「地元の地域資源を活かしたい」という若手メンバーの意見が繋がって、この「奥伊勢小町」が生まれました。育休から復帰したメンバーの、自分の敏感な肌にも合う安心して使えるパックを、という想いも込められています。

— 商品化の実現までは苦労も多かったのでは？

地元の皆さまはじめたくさんの方に応援していただいて実現できましたが、それまで事務しかしていないメンバーばかりでしたので、薬事法のことや製造のこと、助成金申請のためのプレゼンなど、「本当にできるのか」と思うほど、とにかく何もかも初めてで大変でした。

でも、コミュニケーションを重ねていくと 4 人それぞれの興味や得意分野で役割分担もでき、連携・協力して目標へ進んでいけるようになったと思います。

ポジティブに、まず「やつてみること。



〔業種〕建設業 〔従業員数〕16人
〔所在地〕〒519-2505 多気郡大台町江馬 668-1
TEL: 0598-76-0100 FAX: 0598-76-0888

— この「女性社員の取組」で感じた影響は？

関係先の皆さんから評価していただいたり、広く会社のことを知っていたくななど企業としてよい影響を感じますが、男性社員のご家族も以前より会社への興味を強くしていただけたようで、看護休暇取得に繋がるなど社内にも好影響があります。

また、自分たちも「奥伊勢小町」をきっかけに新しい興味が生まれて勉強を始めたり、新しい縁ができたりと、さらに前向きに、幅を広げている感じがします。

社長にも皆の前で褒めてもらいましたし、取材を受けることも増えましたので以前より社屋が片付いてキレイになりました（笑）

— これから何か始めた企業や社員の皆さんに、一言！

今回のことも「やってみなければ失敗もできなかった」「躊躇していたら今はなかった」と思います。ネガティブに「これはムリ」ではなく、「このぐらいならできるかも」というところからスタートして、クリアしたらまたもうひとつ先へ進む、そういう気持ちで“挑戦”していくと、「働く」ということがより楽しくなるのではないかでしょうか。

前向きな気持ちでアンテナを張っていたら、必要な情報や助けが寄ってきてくれます。また、一人では無理でも仲間と協力すればさらに前へ進んで行けます。

失敗してもいいから、まず一步。自分たちも小さな世界に閉じこもらず外へ向かって、これからもポジティブに歩んでいきたいと思っています。



地元「大台茶」を使用した
美容パック「奥伊勢小町」



「あしたば事業部」の皆さん
(左から 松林さん、小野さん、橋本さん、赤池さん)

「奥伊勢小町」の詳細・ご注文は H.P まで… <http://www.ashitaba-cosme.com/>
現在「あしたば事業部」では、一緒に活動するメンバーを募集中です！

8月

フレンテみえからのおくりもの

11月

24日(金) フレンテみえ 特別講座

一企業関連事業のご案内一

これからの企業&ビジネスパーソンへ

～未来を生き抜くライフスキル × マネジメント・ノウハウ～

ダブルインカム、子育て、介護…。 変わりつつある「働く人」のライフスタイルについて、必要な意識やスキルを学ぶこの夏の特別講座。 講師に自らも育児休暇を取得したサイボウズ(株)の青野慶久さんをお迎えし、具体的な取組やその効果などについてお話ししいただきます。企業懇談会も開催予定。研修としてもご活用ください！

講師：青野 慶久さん（サイボウズ株式会社 代表取締役社長）

開場：13:00 開講：【講演】13:30～15:00 【企業懇談会】15:15～16:15(予定)

参加：受付中【参加費無料、要事前申込】※詳細はチラシ・HPをご覧ください

男女共同参画フォーラム

～みえの男女 2012～
「女性の参画拡大に向けて～ポジティブ・アクションの推進～」

今、あらゆる分野へ女性の参画を推進するとともに、男女間の格差を解消するためのポジティブ・アクションの導入が求められています。なぜそれが必要なのか、具体的にどう取り組むのか、対談やワークショップを通して考えます。

対談：藻谷 浩介さん（株式会社日本総合研究所調査部主席研究員）

呉本 紀子さん（パナソニック株式会社エコソリューションズ社ダイバーシティ推進室主事）

時間：【ワークショップ】10:00～12:00 【対談など】13:00～(予定)

参加：申込は 9 月ごろから開始予定 ※詳細はチラシ・HP をご覧ください



「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」とは？

10/6 土



女性のためのからだラボ

～たまには、ゆっくりと大切な自分の“からだ”のこと考えてみませんか～

女性にとって一度は知りたい、自分のからだのこと。日々の忙しさで後回しにしていませんか。妊娠、出産、更年期、乳がんなど、女性のからだをとりまく悩み・不安への解決・ヒントを「からだラボ」がお届けします。今のうちに悩みを解決し、将来に備えておきましょう！講演の後は、各ブースをお楽しみ下さい。相談ブース、体験・交流スペースなど設ける予定です。癒しを求めるなら、ケア＆リラックスブースへどうぞ！

自分を見つめなおし、ライフプランを考えるきっかけにしていただける機会です。思い立った時が新しいあなたへの1歩。どの世代の女性も「からだラボ」は大歓迎。講演のみ男性の参加も可能です。ぜひご参加ください。

- 日時** 10月6日(土) 13:00～16:30 **会場** 三重県文化会館 2階[第2ギャラリー、中会議室]および 祝祭広場
料金 無料 ※マンモグラフィ検診は500円(定員20名)
講師 高見陽子さん(ウィメンズセンター大阪)、竹田寛さん(NPO法人三重乳がん検診ネットワーク 理事長)
申込 事前申込制：電話・FAX・郵送・E-mail・ホームページ・センター窓口
託児 あり(完全予約制・先着順。1歳6ヶ月～小学3年生 託児料500円／1人)



9~10月

平日コース／平成24年 9/19(水)・20(木)・25(火)
土日コース／平成24年 10/13(土)・14(日)・20(土)
いずれの日も 10:30～15:30(昼食休憩12:30～13:30)

フレンテみえでは、母子家庭等の経済的・社会的貧困にさらされている女性に対する直接型の支援を行うため平成21年度から「母子家庭等の女性のためのパソコン講座」を開催しています。

パソコンの基本操作から、ワードを使った職務経歴書の作成や、エクセルを使った簡単な表計算ができるまでの実践的プログラムです。面接で「ワード・エクセルができます！」と言えるよう、インストラクターがわかりやすく丁寧に指導します。社会に出るための一歩を、フレンテみえと一緒に踏み出しましょう！

地域開催! 12月1日(土) 四日市市で「母子家庭等の女性のための就職準備セミナー」開催決定！
詳細は秋頃お知らせいたします。



二兎社公演
(37)

二兎社+公立劇場共同制作

父さん こんばんは、

作・演出

永井 愛



これまで女性の生き方を多く描いてきた作・演出の永井 愛が、初めて男性登場人物だけの作品に挑戦。

出演
平 溝端 佐々木 蔵之介
幹 二朗 淳平

● 2012年11月27日(日) 19時開演(18時30分開場)

所 三重県文化会館 中ホール

料金/S席 5,000円 A席 4,000円
(※25歳未満の学生各席10%割引)

元 三重県文化会館チケットカウンター … 059-233-1122
三重県文化会館Webチケットサービス “エムズネット”
<https://www3.center-mie.or.jp/tickets/>
チケットぴあ [Pコード422-324] … 0570-02-9999
三重県内レコード商組合加盟店 ほか

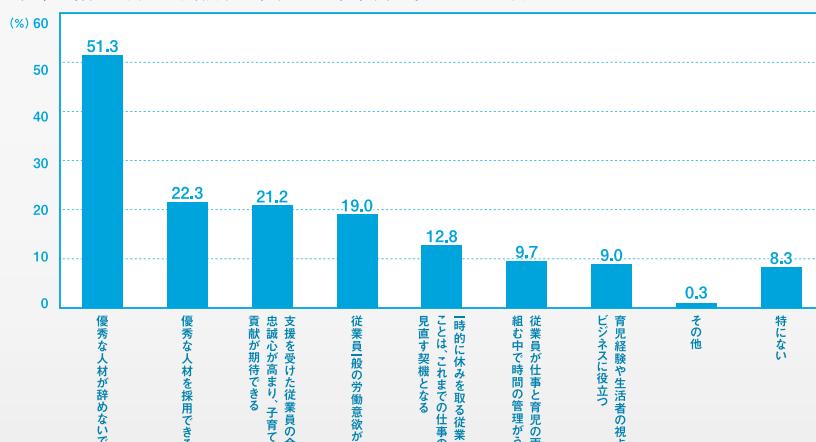
チケット一般発売 … 8月19日(日) 午前10時～

「性と生殖に関する健康と権利」のこと。女性が生涯にわたって、身体的、精神的、社会的に良好な状態であることを指し、またそれを享受する権利のことをいいます。

企業が“ワーク・ライフ・バランス”に取り組むと…?

参考データ

仕事と育児の両立を支援する取組は、企業業績に様々なプラスをもたらします。
仕事と育児の両立を支援する取組が企業業績に与えるプラス面

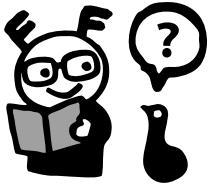


(注)「Yahoo!リサーチモニター」から抽出し、2,543企業（従業員規模別では、0～20人が1,529社、21～50人が282社、51～100人が163社、101人～300人が233社、301人～1000人が154社、1001人以上が182社となっている）中、仕事と育児両立支援取組実施の企業業績への影響について「企業の業績には関係ない」と回答した企業を除いた2,006企業が回答。
(資料)㈱富士通総研「中小企業の両立支援に関する企業調査」(『中小企業白書』(平成18年)に掲載)

こんなメリットがあります！

- ・多様な従業員の定着(離職率の低下)
- ・優秀な人材の確保(採用)
- ・従業員の生活者としての視点や創造性、時間管理能力の向上
- ・コスト削減(残業代など)
- ・生産性や売り上げの向上
- ・部下や同僚従業員の能力向上
- ・企業イメージや評価の向上
- ・従業員の心身の健康の保持増進

会社経営の質と
従業員の生活の
満足のアップに
繋がるね！



統計でみる三重の男女共同参画データブック 発行しました！

三重県の男女共同参画社会形成を進めるためには、まず現状を把握することが必要です。しかし、県内各地で様々な統計資料がある中、男女共同参画の視点で分析・作成された統計資料が少ない現状にあります。

「統計でみる三重の男女共同参画データブック」では、三重県の男女の人口・世帯構成割合や婚姻・離婚・未婚率、有業率、賃金格差、非正規労働者割合、管理職・議員を含む、あらゆる分野の性別割合などフレンテみえが収集した三重県や国のデータのほか、県内各市町における男女共同参画に関する意識調査の結果も掲載しています。



フレンテみえホームページからもダウンロードできます

フレンテみえ って、なん?

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流という「5本の柱」で、様々な事業を展開しています。
ぜひ皆さん、お気軽に立ち寄りください！

~詳しい情報はホームページまで~

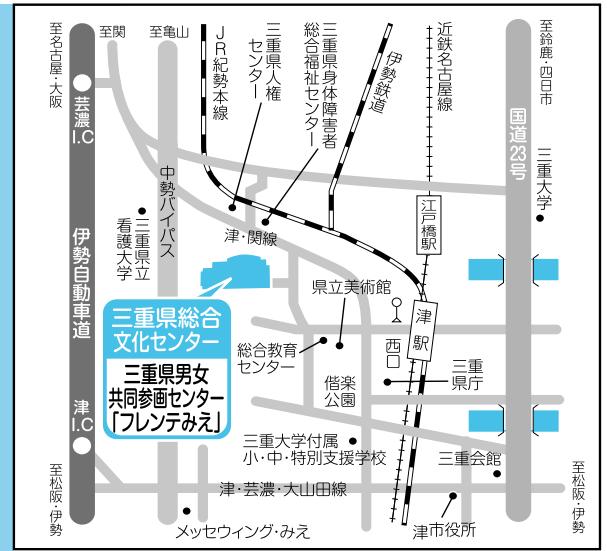
フレンテみえ

で

検索



三重県男女共同参画センターまでのルート案内



休館日
毎月曜日
年末年始
(12月29日から
1月3日まで)

交通
■バス/津駅西口1番のりばから約5分
■徒歩/津駅西口から約25分
■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※駐車場は1400台(無料)できるだけ公共交通機関をご利用ください。

[年4回発行/次回10月発行予定]

女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料
フレンテみえ相談室 専用ダイヤル 059-233-1133

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00～12:00		●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00～15:30		●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00～19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

フレンテみえ相談室のルート案内
(切り取ってご利用ください)



MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
TEL : 059-233-1130 FAX : 059-233-1135
URL <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/>
E-mail : frente@center-mie.or.jp

6月の強調月間ffも成功裡終了。フレンテ事務所の大きな窓は鮮やかな緑に溢れています。いよいよ夏、本番！皆さま、フレンテに、お健やかに。(by所長)